

Information

医療・病院管理研究協会研修

●看護管理 看護とチーム医療

(Web 開催)

日時▶12月2日(金)10:00~16:15

テーマ▶医療の質向上に貢献するチーム医療を目指して

プログラム▶「病棟常駐型チーム医療における看護—チーム医療の要として看護が自律自働するために」岡本充子(近森会)／「多職種協働による業務改善への取り組み」吹田絹恵(健和会柳原病院)／「チーム医療にかかわる看護師の役割」藤本七津美(JA 広島総合病院)

●病院管理 医療における

デジタル化の活用と影響 (Web 開催)

日時▶12月9日(金)10:00~16:15

テーマ▶デジタル技術の最適な利用を図るために

プログラム▶「消化器内視鏡診療における人工知能の利活用の現状と展望」三澤将史(昭和大学横浜市北部病院)／「医療リアルワールドデータの集積と活用の事例」石川ベンジャミン光一(国際医療福祉大学)／「地域医療におけるデジタル化—地域連携ネットワークやオンライン診療を活用する次世代医療」松本武浩(長崎大学病院)

【以下共通】

会費▶会員 1 万円, 非会員 1 万 3000 円

申込方法▶下記 Web サイトの申込フォーム, または E-mail, FAX で送信

<http://byoken.com/service.html>

問い合わせ先▶医療・病院管理研究協会
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-29-8 公衛ビル

FAX 03-3352-2575

✉ kenshu@byoken.com

<http://byoken.com>

第 56 回日本成人病 (生活習慣病) 学会学術集会 (現地+Web 開催)

日程▶2023 年 1 月 14 日(土)~15 日(日)

会場▶都市センターホテル(東京都千代田区)

テーマ▶ウィズ・コロナ時代の超高齢社会を生き抜く

プログラム▶特別講演①「スーパーセンタリ안의科学」広瀬信義(慶應義塾大学)／②「新型コロナウイルス感染症に対する治療の現状と将来の展望」忽那賢志(大阪大学)／理事長講演「コロナ禍における生活習慣病」小田原雅人(日本成人病[生活習慣病]学会)／会長講演「ウィズ・コロナ時代の超高齢者医療」野川茂(東海大学医学部付属八王子病院)／プレナリーレクチャー①「iPS 細胞を用いたドラッグ・リポジショニングによる ALS 治療の探索」高橋慎一(慶應義塾大学)／②「AI による循環器疾患のプレジジョン・メディシン」後藤信哉(東海大学)／教育講演①「腸内環境から学ぶ炎症と免疫の加齢変化」丸山光生(国立長寿医療研究センター研究所)／②「老化制御による生活習慣病予防」吉野純(慶應義塾大学)／シンポジウム①「がん関連合併症」：1)「がん関連血栓症と Onco-Cardiology」向井幹夫(大阪国際がんセンター), 2)「がんと脳卒中」安部貴人(東海大学), 3)「がん悪液質の成因と症状およびその対策」上園保仁(東京慈恵会医科大学), 4)「免疫関連事象として発症する神経・筋疾患」鈴木重明(慶應義塾大学)／②「ウィズ・コロナ時代の超高齢者医療」：1)「コロナ禍による活動制限が高齢者に与えた影響を考える」荒井秀典(国立長寿医療研究センター), 2)「私たちが目指す近未来の医療・介護・ヘルスケアとは」中村雅也(慶應義塾大学), 3)「生活習慣と認知症」長田乾(横浜総合病院), 4)「高齢者のポリファーマシー対策」秋下雅弘(東京大学)／③「糖尿病治療 update (糖尿病療養指導士講習)」：1)「糖尿病治療 update」黒田暁生(徳島大学), 2)「インスリンと GLP-1 受容体作動薬が織りなすこれからの糖尿病注射療法」弘世貴久(東邦大学), 3)「経口糖尿病治療薬の特徴とエビデンス」鈴木亮(東京医科大学), 4)「肥満を伴う糖尿病への行動療法」正木孝幸(大分大学)／④「職場における頭痛と新型コロナウイルス感染症対策(日本医師会認定産業医研修会)」：1)「職場における片頭痛の支障

度および片頭痛の新規治療薬について」清水利彦(荏原製作所), 2)「女性のライフイベントと頭痛」五十嵐久佳(富士通クリニック), 3)「職域におけるパンデミック対策」立道昌幸(東海大学)／市民公開講座(Web 開催)「生活習慣を改善して脳を守り, 健康寿命を延伸する」：1)「健康寿命延伸のための生活習慣とは」野川茂(東海大学), 2)「脳卒中と生活習慣」大木宏一(済生会中央病院), 3)「認知症と生活習慣」今関良子(東海大学), 4)「パーキンソン病と生活習慣」関守信(慶應義塾大学)

問い合わせ先▶運営事務局

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-5-10 住友成泉小石川ビル 6F サンプラネット
メディカルコンベンション事業部内

☎ 03-5940-2614

FAX 03-3942-6396

✉ jsad56@sunpla-mcv.com

<http://jsad56.umin.jp/index.html>

北関東救急看護研究会 令和 4 (2022) 年度 教育セミナー(Web 開催)

日程▶2023 年 1 月 28 日(土)14:00~16:00

テーマ▶救急看護領域と特定行為(仮)

講師▶酒井郁子(千葉大学)

参加費▶会員無料, 非会員 500 円

申込方法▶参加申込用 Google フォーム
(<https://onl.sc/gwQJx8N>) より

申込締切▶2023 年 1 月 21 日(土)12:00 まで

問い合わせ先▶

✉ kitaqkangokenkyukaioffice@gmail.com

<http://plaza.umin.ac.jp/~kitaq/>

第 3 回日本フットケア・足病医学 学会年次学術集会(現地開催)

日程▶2023 年 2 月 11 日(土)~12 日(日)

会場▶なら 100 年会館, ホテル日航奈良
(いずれも奈良市)

テーマ▶New Horizon 足の新時代へ

問い合わせ先▶運営事務局

〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋
4-4-7 京阪神淀屋橋ビル 2F 日本コン
ベンションサービス株式会社関西支社内

☎ 06-6221-5933

☎ 06-6221-5938

✉ jfcpm2023@convention.co.jp

<https://site2.convention.co.jp/jfcpm2023/>

第 57 回糖尿病学の進歩 (現地開催)

日程▶2023 年 2 月 17 日(金)~18 日(土)

会場▶東京国際フォーラム (東京都千代田区)

問い合わせ先▶運営準備室

〒100-0013 東京都千代田区霞が関
1-4-2 大同生命霞が関ビル 14 階 日本
コンベンションサービス株式会社 (JCS)
内

☎ 03-3508-1214 (窓口対応時間 9:30
~17:30)

☎ 03-3508-1302

✉ 57shimpo@convention.co.jp

<https://site.convention.co.jp/57shimpo/>

回復期リハビリテーション 病棟協会 第 41 回 研究大会 in 岡山 (現地開催)

日程▶2023 年 2 月 24 日(金)~25 日(土)

会場▶川崎医療福祉大学 (岡山県倉敷市)

テーマ▶踏み出そう次のステージへ

プログラム▶大会長講演「踏み出そう次の
ステージへ」花山耕三 (川崎医科大学附属
病院) / 基調講演「回復期リハビリテ
ーション病棟の目指すべき方向性」三橋尚志
(回復期リハビリテーション病棟協会) / 特
別講演①「令和 6 年度診療報酬・介護報酬
同時改定を見据えて (仮)」眞鍋馨 (厚生
労働省) / ②「真の transdisciplinary team
approach の実現に向けて—総合リハビリ
テーション療法士という考え方 (仮)」武
久洋三 (日本慢性期医療協会) / ③「先進的

回復期リハビリテーション (仮)」大高洋
平 (藤田医科大学) / 教育講演①「学際的研
究から考える脳卒中リハビリテーション
(仮)」森岡周 (畿央大学) / ②「回復期リ
ハビリテーション病棟における脳卒中リハ
ビリテーション—NIRS フィードバック
(仮)」三原雅史 (川崎医科大学) / ③「地域
共生社会実現のために回復期は何をまず
すべきか」角田賢 (錦海リハビリテーション
病院) / ④「リハビリテーション医療の未来
—再生医療とリハビリテーション医療」松
元秀次 (筑波大学附属病院) / ⑤「回復期
リハビリテーション病棟における医療倫理」
会田薫子 (東京大学) / ⑥「回復期リハビリ
テーション病棟で明日から出来る臨床研究
(仮)」青柳陽一郎 (日本医科大学) / ⑦「回
復期リハビリテーション病棟におけるビ
ッグデータの活用」松田晋哉 (産業医科大
学) / ⑧「ブレイン・マシン・インター
フェースを活用した脳卒中片麻痺上肢のリ
ハビリテーション」牛場潤一 (慶應義塾大
学) / ⑨「健康医療福祉都市構想の実現にむ
けて」酒向正春 (ぬりま健育会病院) / ⑩
「回復期リハビリテーション医療への VR
技術の応用」原正彦 (株式会社 mediVR)
/ ⑪「患者報告型アウトカムを重視した地
域包括システム—生活を科学する試み
(仮)」田村暢一郎 (倉敷中央病院) / ⑫「高
次脳機能障害者に対する社会参加支援—回
復期からはじめる就労支援」後藤祐之 (川
崎医療福祉大学) / ⑬「回復期リハビリテ
ーション医療における栄養管理の重要性—当
院での取り組み」戸次優衣 (近森リハビリ
テーション病院) / シンポジウム①「リハ
ビリテーション看護を定義する—回復期の
プロセスアプローチから」: 1) 「チームの力
を発揮するために、棲み分けから融合へ」
中西純子 (愛媛県立医療技術大学), 2) 「市
中病院からの提案—日本リハビリテーシ
ョン看護学会活動に参加して (仮)」大塚恵
(総合リハビリテーション伊予病院), 3)
「市中病院からの提案—看護師のやる気を
支える仕組み」山田小百合 (コープリハ
ビリテーション病院), 4) 「特定機能病院の職
員教育に関する内容 (仮)」渡辺恵子 (川
崎医科大学附属病院) / ②「このような疾
患・病態の回復期リハビリテーション
は?」: 1) 「パーキンソン病・症候群の入

院リハビリテーション (仮)」加世田ゆみ
子 (広島市立リハビリテーション病院),
2) 「脊髄損傷のリハビリテーション医療—
回復期から維持期において知っておきたい
こと (仮)」古澤一成 (吉備高原医療リハ
ビリテーションセンター), 3) 「下肢切断
(仮)」濱田全紀 (岡山大学病院), 4) 「脳性
麻痺および発達障害」近藤和泉 (国立長寿
医療研究センター病院) / ③「大規模災害下
の回復期リハビリテーション医療」: 1)
「運営継続に向けてどの様に備えるか
(仮)」近藤国嗣 (東京湾岸リハビリテ
ーション病院), 2) 「東日本大震災—院内外で
のリハビリテーションの取組 (仮)」藤原
大 (坂総合病院), 3) 「熊本地震—そのとき
当院のリハビリテーション医療は (仮)」
東野孝治 (水前寺とうや病院), 4) 「平成
30 年 7 月豪雨 (西日本豪雨) —そのとき
当院 (エリア) のリハビリテーション医療
は (仮)」國安勝司 (川崎医療福祉大学) /
④「次のステージとして回復期リハビリ
テーション病棟に求められる機能/役割と
は」: 1) 「特定機能病院リハビリテーシ
ョン病棟に求められる機能/役割とは (仮)」
下堂園恵 (鹿児島大学病院), 2) 「地域医療
支援病院内に設置された回復期リハビリ
テーション病棟 足利赤十字病院の現状を
踏まえて (仮)」馬場尊 (足利赤十字病
院), 3) 「透析施設を有する一般病院内に設
置された回復期リハビリテーション病棟に
求められる役割とは (仮)」田中義人 (し
げい病院), 4) 「リハビリテーション専門病
院の回復期リハビリテーション病棟に求め
られる機能/役割とは」岡本隆嗣 (西広島
リハビリテーション病院)

問い合わせ先▶運営事務局

〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎
町 2-1-25 JTB ビル 8 階 株式会社 JTB
コミュニケーションデザイン 事業共創部
コンベンション第二事業局内

✉ 41kaifukuki-reha@jtbcom.co.jp

<https://convention.jtbcom.co.jp/41kaifukuki-reha/index.html>

*掲載している情報は 11 月 1 日時点の
ものです。最新の情報は主催元をご確認
ください。